



非常用持ち出し品の準備は大丈夫ですか？ 災害に備えましょう

「9月1日」は防災の日です。

この時期に各家庭でも防災について話し合っておきましょう。

特に、避難場所の確認や家族の集合場所を決めておくのもよいでしょう。

■高齢者のひとり暮らし世帯へ、防災袋を配布します。

私たち民生委員・児童委員は東日本大震災で被災された方たちのご意見を参考にして、防災袋(リュック型になります)を用意しました。

中に、大判ビニール袋・タオル・歯ブラシ・筆記用具等を入れた防災袋を高齢者のひとり暮らしの世帯へ、民生委員・児童委員が9月中旬に配布します。

どうぞ、お手元において備えてください。

「民生委員・児童委員はいつもそばにいます」



高齢者のひとり暮らしの世帯へ配布する
防災袋

人権 それは 愛

問合せ／教育文化振興課 ☎990-9011
企画財政課 ☎991-1815



今月は「松伏町小・中学校人権作文集 - 第16集 -」の作品の中から、小学校5年生の作品を紹介します。

友達の気持ちを考えて

ぼくは、友達に対して、気をつけていることがあります。それは、みんなと遊んでいるときに、「入れて。」と言ってきた人は、必ず入れてあげること、言葉づかいに気をつけて、きずつけないようにしたり、そういう言葉できずつける人がいたら注意をすることです。

ぼくは、以前、仲間はずれにされたことがありました。三人のグループでしたが、ぼく一人が、理由もわからず仲間はずれにされて、しばらくは暗い気持ちで、学校へ行くのもいやになりました。でも、そのうちに、一人が「ごめん。」とあやまってくれたので、ちょっと元気はもどったのですが、あやまっていない友達に、同じことをやりかえそうと考えました。でも、すぐに考え直して「自分がされていやなことは、ぜったいにしない。」と決めて、三人で仲直りしました。

自分のことだけでなく、友達にもいけないことを注意しようと思ったのは、ぼくは、お母さんや先生からよく注意されています。時々いやなこともあります。それは愛情があるからしかってくれるのだと思います。ぼくは、友達やクラスのみんなが大好きです。みんなに友情を持って、悪いところは注意し合えたら、すばらしい仲間になれると思います。

これからも、ケンカをしたり、いやなことがあると思いますが、友達の気持ちを考えながら、注意ができてやさしい自分でいたいと思っています。

この人権作文集は、児童・生徒のみなさんに、人権や差別について考えていただき、他人の心の痛みがわかる、差別のない・許さない・見のがさない人になってほしいと願って作成されています。